

倒産集計**信用交換所京都本社**

09年上半期(1~6月)の繊維倒産

件数は若干減少したが、負債額は3年連続増加

全 国 発生件数 = 291件 負債額 = 2214億800万円

2009年上半期(1~6月)の全国繊維業者の倒産(負債額1000万円以上=整理・内整理含む)は291件となり、前年同期比では18件(5.8%)の減少となった。07年上半期は6年ぶりに増加に転じたが、以降減少基調をたどっている。

負債額は2214億800万円で、前年同期比で907億3100万円(69.4%)の増加、07年以降前年を上回る推移となっている。

負債額100億円以上の大型倒産は、(株)丸井今井(札幌市、百貨店、負債額502億円)、(株)もくもく(京都市、婦人服製造・小売、同161億円)、トミヤアパレル(株)(東京都港区、ドレスシャツ製造、同122億7900万円)の3件(前年同期1件)。そのほかにも小杉産業(株)(東京都中央区、衣料総合卸、同97億9300万円)など負債額50億円を超える大型倒産が3件発生し、これらを含め負債額10億円を超える倒産が41件(同18件)発生した。

リーマンショック以降の国際経済の悪化から、自動車・機械など輸出関連を含めた国内大手企業の急速な不振、雇用不安の高まりなど波乱のスタートとなり、5月には新型インフルエンザの流行に伴い関西圏では店頭販売が急激に落ち込んだ。

こうした中、不動産関連を中心に上半期は上場企業18社が破たん。繊維業界でも1月に地方百貨店の雄であった(株)丸井今井、2月にはトミヤアパレル(株)、小杉産業(株)の上場2社が相次いで破たん。さらに(株)もくもく、(株)ユーリーグほか過去に風評のあった企業や、泰道リビング(株)など業界著名企業が自主再建を断念せざるを得ない状況となった。

業種別では「小売商」が77件で全体の26.5%を占めて最も多く、次いで「紳士・婦人・子供・被服製造卸」71件(24.4%)、「ニット製品・洋品雑貨製造卸」43件(14.8%)となり、この3業種で全体の65.7%を占めた。以下は、「その他」21件、「織物製造」20件、「織物卸」17件、「呉服・和装製品製造卸」15件、「寝具・インテリア製品製造卸」9件、「染色整理・特殊加工」7件、「紡績・撚糸製造」5件、「繊維総合卸」4件、「糸及び原料商」2件だった。

原因別では、「業績ギリ貧」が213件(73.2%)で最も多く、続いて「業況急変」22件、「資金力薄弱」17件、「放漫経営」14件、「貸し倒れ損失」12件、「信用度薄弱」7件、「融手連鎖」4件、「過剰投資」2件となった。

京 都 発生件数 = 19件(前年上半期15件) 負債額 = 190億1600万円
(前年上半期17億3500万円)滋 賀 発生件数 = 9件(前年上半期6件) 負債額 = 10億800万円
(前年上半期14億1400万円)